

# 特別プロジェクト最終報告

## 1. 負債と資本の中間項目の開示

### 1) 最終報告書

特別プロジェクト代表 野口晃弘（名古屋大学）

### 2) スtock・オプションの公正価値評価におけるインプット情報の裁量的な操作

田澤宗裕（名城大学）

## 2. 日本企業のディスクロージャーにおける利益の平準化とその抑制

### 1) 会社法配当規制と利益平準化行動の抑制

市原啓善（小樽商科大学）

### 2) 群衆の予想改訂による利益平準化効果の抑制

山田哲弘（中央大学）

2016年5月28日（土）に東京経営短期大学（市川キャンパス）において第13回研究大会が開催され、「特別プロジェクト最終報告」が行われました。黒川行治氏（慶應義塾大学）を司会に、野口委員会（代表：野口晃弘氏（名古屋大学）、委員：小川淳平氏（神奈川大学）、仙場胡丹氏（名古屋大学）、田澤宗裕氏（名城大学）、中條祐介氏（横浜市立大学）、二村雅子氏（小樽商科大学）、向伊知郎氏（愛知学院大学））、國村委員会（代表：國村道雄氏（名古屋市立大学）、主査：吉田和生氏（名古屋市立大学）、委員：吉田 靖氏（東京経済大学）、山田哲弘氏（中央大学）、市原啓善氏（小樽商科大学）、棚橋則子氏（東北学院大学）、加藤千雄氏（大阪経済大学）、久保 暢氏（株）TMMC）の代表者および報告者より、多様な立場から多角的に議論・討議が行われました。

特別プロジェクトの最終報告については、学会誌の論文掲載または市販本の発刊が義務となっています。特集（1）では、各委員会から提出された研究成果を掲載しています。当日会場に来られなかった会員のためにも当日の議論の内容をお伝えすることができることを願っています。なお、村井委員会（代表：村井秀樹氏（日本大学））については次号の掲載を予定しています。